

【平成30年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)						
01	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備に向けて高額医療機器については、昨年度に策定した整備計画に基づき整備を進める。 高額医療機器以外の現有機器の更新については、関係部門のヒアリングを実施し、緊急性・移設性・収益性を考慮の上、平成30年12月を目標に整備計画を策定する。 更新による効果としては、検査時間が短縮されるとともに被曝線量が減少するため患者への体への負担を減少させることができる。また、時間短縮による稼働件数の増加により収益性の向上が見込まれる。 昨年度に更新整備した放射線治療装置（ツールビーム）、心臓血管用X線撮影装置（アンギオ）を本格稼働させ、高機能機器による治療で患者負担の軽減、検査待ち時間の短縮、治療件数の増加を目指す。 	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるよう病床機能や規模、将来予測等を踏まえた新中央診療棟整備に向けた基本設計を策定した。同時に新中央診療棟開院に向けた医療機器の整備について、各部署における医療機器の配備状況及び要望を把握するため、部門ヒアリングを実施した。部門ヒアリングの内容をもとに、整備のランク（優先順位）付けを行い、整備計画を策定した。また、要望があった医療機器の中から、緊急度や収益性など総合的に判断し、平成30年度中の整備が妥当であると判断された高度医療機器について、更新を行った。 平成29年6月に納入された高精度放射線治療装置（ツールビーム）が、関係省庁等への許認可手続き、照射量や減衰などのデータ収集作業を経て、平成30年4月から稼働開始した。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新生児搬送用保育器</td> <td>東濃・可茂地域の消防署に搬送用保育器を予め配備しておくことで、より迅速な患者搬送と受入が可能となる。</td> </tr> <tr> <td>血液ガス分析装置</td> <td>院内の血液ガス分析装置を同一メーカーのものに更新し、新電子カル</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	整備目的・用途	新生児搬送用保育器	東濃・可茂地域の消防署に搬送用保育器を予め配備しておくことで、より迅速な患者搬送と受入が可能となる。	血液ガス分析装置	院内の血液ガス分析装置を同一メーカーのものに更新し、新電子カル	IV		高精度放射線治療装置の稼働など高度医療を提供するとともに、医療安全にもしっかり取り組んでおり評価できる。
機器名	整備目的・用途										
新生児搬送用保育器	東濃・可茂地域の消防署に搬送用保育器を予め配備しておくことで、より迅速な患者搬送と受入が可能となる。										
血液ガス分析装置	院内の血液ガス分析装置を同一メーカーのものに更新し、新電子カル										

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																												
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																											
	<p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全部に従前の医療安全管理者（看護師）に加え、看護師1名を増員するとともに専従の事務職員を配置し、インシデントおよびアクシデント事例の集積や分析を行う体制を強化する。重要事案については医療安全管理委員会、看護部安全管理委員会等に分析結果や検討内容を提供し、院内職員へ周知徹底を図る。 ・診療材料委員会の委員に医療安全管理者と医療機器安全管理責任者を加え、コスト面のみでなく医療安全や品質管理面での審査も行う。 ・臨床工学技士による最新医療機器の安全な取り扱い研修や、院内アクシデント・インシデント事例に基づく実践的な医療安全管理研修などの教育研修プログラムを拡充する。 ・医療安全研修会や勉強会、医療安全推進週間を通じて医療安全に対する職員の意識を高める。特に、医療安全講演会はDVDなどの研修開催回数を増やし、職員の研修に参加できる機会を増やし、医療安全に対する意識の高揚を図る。 ・各部門・部署で安全に関する研修を計画・実施する。 ・毎月、医療安全に関する一斉点検日を定め、自己点検シート等を活用した自己評価を行う等の取り組みを各部門・部署で実施する。 ・「医療安全管理指針」や各種マニュアルや手順書等をより実践的な内容に改正し整備する。 ・医療安全に関する院外研修に積極的に参加をして、安全対策の向上を図る。 	<p>テシステムに接続することで、装置の一元管理が可能となり、精度管理が容易になる。</p>																														
	<p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデントレポートの集計、分析を行い、医療安全管理委員会において再発防止策を検討した。その検討結果に基づき管理会議、医局会、看護部安全対策委員会等で注意喚起、周知を図った。 ・コメディカル各部門の技師長、副技師長クラスを医療安全部への配置を継続し、カンファレンスや院内ラウンド、医療安全講演会の開催等を精力的に実施した。 ・今年度から、毎月第1月曜を「医療安全一斉点検の日」とし、全職員が医療安全に関する実践状況について自己チェックを行う仕組みを導入し、職員一人ひとりの安全意識の向上に努めた。 ・医療用麻薬の管理及び取扱い方法を徹底するため、院内共通マニュアルを整備したうえ、教育研修や周知徹底を図った。また、新たに医療用麻薬の管理状況等の確認に特化した院内ラウンド（毎月1回）を実施する等、全職員へ医療用麻薬に対する適正な管理を意識づけた。 <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,765</td> <td>3,273</td> <td>3,474</td> <td>3,344</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>30</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,795</td> <td>3,287</td> <td>3,497</td> <td>3,371</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>DVD研修会</th> <th>参加率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取り扱いに特別な注意が必要な薬剤の事故防止に向けて(10/5)</td> <td>600</td> <td>481</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	インシデント	3,765	3,273	3,474	3,344	アクシデント	30	14	23	27	合計	3,795	3,287	3,497	3,371	テーマ（開催日）	参加数	DVD研修会	参加率（%）	取り扱いに特別な注意が必要な薬剤の事故防止に向けて(10/5)	600	481	96			
区分\年度	H27	H28	H29	H30																												
インシデント	3,765	3,273	3,474	3,344																												
アクシデント	30	14	23	27																												
合計	3,795	3,287	3,497	3,371																												
テーマ（開催日）	参加数	DVD研修会	参加率（%）																													
取り扱いに特別な注意が必要な薬剤の事故防止に向けて(10/5)	600	481	96																													

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証(案)																																										
		弁護士から見た 医療紛争を未然に防ぐために (2/26)	561	526	97																																										
		※DVD研修会：参加率 100%を目指すため実施																																													
05	3 がん医療 <ul style="list-style-type: none"> ・県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、パスコーディネーターを中心に引き続き適用患者の増進に努める。 ・高精度放射線治療装置（ノバリスTx）に加え新放射線治療装置（トゥルービーム）の稼働により根治照射・予防照射・緩和照射等正確で質の高い治療を提供する。 ・放射線治療品質管理委員会を開催し、安全性と放射線治療品質管理について検討を行う。 ・昨年度に拡張整備した化学療法センターの活用により外来化学療法の拡充を図る。 	3 がん医療 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 6 月に納入された高精度放射線治療装置（トゥルービーム）が、関係省庁等への許認可手続き、照射量や減衰などのデータ収集作業を経て、平成 30 年 4 月から稼働を開始し、高精度放射線治療装置（ノバリスTx）との 2 台稼働により、根治照射・予防照射・緩和照射等適応疾患を網羅しつつ、特徴を生かしたより先進的かつ効果的な放射線治療の提供に努めた。 ・放射線治療品質管理委員会を開催（年 2 回）し、放射線治療の現状・品質管理などについて検討を行った。 ・化学療法センターを 20 床から 24 床に拡張整備したことで、外来化学療法件数も増加する等、地域がん診療連携拠点病院として先進治療の実施に努めた。 ・県内統一のがん地域連携クリニカルパスについてパスコーディネーターを中心に適用患者の増進に努めた。 <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数 (単位:人)</td> <td>2,622</td> <td>2,695</td> <td>2,805</td> <td>3,060</td> </tr> <tr> <td>外来患者数 (単位:人)</td> <td>1,496</td> <td>1,675</td> <td>1,877</td> <td>1,848</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,108</td> <td>1,121</td> <td>1,108</td> <td>1,066</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学療法 件数</td> <td>入院</td> <td>1,272</td> <td>1,824</td> <td>1,510</td> <td>1,433</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,894</td> <td>11,403</td> <td>11,610</td> <td>11,842</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線 治療 施行 回数</td> <td>入院</td> <td>3,031</td> <td>2,958</td> <td>2,853</td> <td>3,169</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>5,429</td> <td>4,864</td> <td>5,185</td> <td>5,825</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H27	H28	H29	H30	入院患者数 (単位:人)	2,622	2,695	2,805	3,060	外来患者数 (単位:人)	1,496	1,675	1,877	1,848	手術件数	1,108	1,121	1,108	1,066	化学療法 件数	入院	1,272	1,824	1,510	1,433	外来	11,894	11,403	11,610	11,842	放射線 治療 施行 回数	入院	3,031	2,958	2,853	3,169	外来	5,429	4,864	5,185	5,825	IV		高精度放射線治療装置による治療実績は評価できる。
項目\年度	H27	H28	H29	H30																																											
入院患者数 (単位:人)	2,622	2,695	2,805	3,060																																											
外来患者数 (単位:人)	1,496	1,675	1,877	1,848																																											
手術件数	1,108	1,121	1,108	1,066																																											
化学療法 件数	入院	1,272	1,824	1,510	1,433																																										
	外来	11,894	11,403	11,610	11,842																																										
放射線 治療 施行 回数	入院	3,031	2,958	2,853	3,169																																										
	外来	5,429	4,864	5,185	5,825																																										

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																	
		<p>【がんパス件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高精度放射線治療システム（ノバリスTx・トゥルービーム）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数（単位：人）</td> <td>264</td> <td>307</td> <td>344</td> <td>471</td> </tr> <tr> <td>強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）</td> <td>239</td> <td>273</td> <td>254</td> <td>295</td> </tr> <tr> <td>延べ件数（単位：件）</td> <td>5,076</td> <td>5,988</td> <td>6,491</td> <td>9,413</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	22	30	12	16	項目\年度	H27	H28	H29	H30	患者数（単位：人）	264	307	344	471	強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	239	273	254	295	延べ件数（単位：件）	5,076	5,988	6,491	9,413								
H27	H28	H29	H30																																			
22	30	12	16																																			
項目\年度	H27	H28	H29	H30																																		
患者数（単位：人）	264	307	344	471																																		
強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	239	273	254	295																																		
延べ件数（単位：件）	5,076	5,988	6,491	9,413																																		
09	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学生の学外実習を積極的に受け入れる。 ・看護学生について、前年度同様、専門学校や看護大学の学生の実習を積極的に受け入れる。看護職員確保を目標に、新たな看護大学等からの受入れにも対応できるよう小児科、母性、精神科実習などを拡大する。 ・コメディカルについても、積極的に実習を受け入れる。 	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から実習生や見学生を積極的に受け入れた。また、看護学生やコメディカルは専門学校や大学からの実習を積極的に受け入れた。看護学生については、特に精神科、小児科や母性の実習への要請が強く、可能な限り受け入れられるように、実習のスケジュールを調整した。 <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>22</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>541</td> <td>380</td> <td>458</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>51</td> <td>57</td> <td>59</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>624</td> <td>453</td> <td>539</td> <td>615</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32</td> <td>67</td> <td>92</td> <td>108</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	医学生	32	16	22	41	看護学生	541	380	458	505	コメディカル	51	57	59	69	合 計	624	453	539	615	H27	H28	H29	H30	32	67	92	108	IV	<p>評価の検討</p> <p>IV→III</p> <p>学生の実習について、概ね平年並みに受入れを実施している。</p> <p>IVのまま</p> <p>学生の実習について、可能な限り受けられるよう調整し、前年度に比べ多くの受入を行った。</p>	<p>「IV」</p> <p>特に医学生の実習受入れが増加しており、今後も引き続き支援を期待する。</p>
区分\年度	H27	H28	H29	H30																																		
医学生	32	16	22	41																																		
看護学生	541	380	458	505																																		
コメディカル	51	57	59	69																																		
合 計	624	453	539	615																																		
H27	H28	H29	H30																																			
32	67	92	108																																			

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)
13	2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点病院としての機能維持が図れるよう、災害実動訓練等の実施とBCP計画の継続的見直しを行うほか、必要な備品類を整備していく。 ・有事の際に県防災通信機器が有効に使用できるよう、県等と連携して通信訓練を行い、管理運用の充実に努めていく。 	2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の医療資源の不足に伴い病院の重要な機能が低下した状況下において、当院としての非常時優先業務を必要な時間内に再開・継続及び開始するための基本方針、取り組み等を定めた診療継続計画書（BCP）を策定した。 ・関係機関と連携した災害実動訓練では、策定した「ミッションシート（非常時行動手順及び行動チェックシート）」の実証等、被災により病院機能低下状況下における災害医療実動訓練を実施した。 ・バス転落事故、集団食中毒、熱中症などMC I (Mass Casualty Incident、多数傷病者事故)による通常救急体制では対応困難な医療需要が急増した場合の院内対応、消防との連携体制の検討を行うとともに、東濃地域の5救急病院と5市消防本部との連携体制を確立する必要性から、東濃MC I連携対応検討会を開催した。 	IV		BCPの策定及び東濃地区の他病院との連携は評価できる。
15	1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度策定したBCP（診療継続計画）については、より実効性のある内容とするため、適宜必要な見直しを行っていく。 2 診療情報のバックアップシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・医療総合情報システム（電子カルテ）の更新に合わせ、医療現場において非常の際にパソコン単体でも患者情報が得られる仕組みを本格運用する。 	1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の医療資源の不足に伴い病院の重要な機能が低下した状況下において、当院としての非常時優先業務を必要な時間内に再開・継続及び開始するための基本方針、取り組み等を定めた診療継続計画書（BCP）を策定した。 2 診療情報のバックアップシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時に備え、医療現場において専用端末のみで患者情報が得られるよう、SS-MIXの情報が閲覧できるシステムを構築して、各部署で運用を開始した。 	IV		診療情報のバックアップシステムの構築など、災害時の対策としての準備体制の整備は評価できる。
23	多様な契約手法の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・契約方法の点検を行い、プロポーザルや複数年契約などの多様な契約手法についての検討を行う。 ・高度医療機器において購入後のメンテナンス費用も含めた契約など、仕様を含めた契約方法についての検討を行う。 ・引き続き「病院経営に関するコンサルタント業 	多様な契約手法の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の保守点検業務委託について、複数の機器の包括契約や複数年契約により経費の節減を図った。 ・高額医療機器の更新にあたり、購入した場合との比較検討によりリース契約を採用し、経費の節減を図った。 ・立体駐車場の整備を、民間資金を活用しBTO方式（サービス購入型）で整備することとし、15年間の保守管理委託を含めた契約を締結した。契約にあたっては、運営 	IV		立体駐車場の契約手法など、独立行政法人化のメリットを活かしている。

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																												
	務」を活用することにより 効果的な契約方法や費用の妥当性についての情報収集及び検討を行う。	管理を含めてプロポーザルによる業者選定を実施した。																																															
25	1 在庫管理の徹底などによる費用の節減 ・SPD運営管理業務の平成31年度の契約更新に向け、SPD管理の貯蔵品以外の診療材料（医療現場に直接納品される診療材料等）の在庫管理が行えるように検討し、過剰な在庫の抑制を図る。 ・診療材料について、引き続き同種材料の価格のベンチマーク調査を行い、費用の節減を図る。 ・「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、薬品及び診療材料にかかる費用の節減を図る。 ・診療材料の納入業者や納入方法などを引き続き検討し、効率的かつ費用削減を図る。	1 在庫管理の徹底などによる費用の節減 ・SPD運用管理業務を活用し、診療材料の院内在庫の抑制に努めた。 ・診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、医薬品及び診療材料にかかる費用の節減に努めた。 ※削減額（年間予定数量ベース） ・薬品費：約8,000万円 ・診療材料費：約1,300万円 【医薬収益に対する材料費比率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.62</td> <td>16.10</td> <td>15.91</td> <td>16.11</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.12</td> <td>9.73</td> <td>10.34</td> <td>11.09</td> </tr> <tr> <td>材料費全体</td> <td>26.03</td> <td>26.39</td> <td>26.32</td> <td>27.26</td> </tr> </tbody> </table> 【薬品費及び診療材料費】 単位：千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,619,397</td> <td>2,689,702</td> <td>2,812,655</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,582,848</td> <td>1,747,406</td> <td>1,935,321</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	H29	H30	薬品費	15.62	16.10	15.91	16.11	診療材料費	10.12	9.73	10.34	11.09	材料費全体	26.03	26.39	26.32	27.26	区分\年度	H28	H29	H30	薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	III		診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントの活用は評価できる。												
区分\年度	H27	H28	H29	H30																																													
薬品費	15.62	16.10	15.91	16.11																																													
診療材料費	10.12	9.73	10.34	11.09																																													
材料費全体	26.03	26.39	26.32	27.26																																													
区分\年度	H28	H29	H30																																														
薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655																																														
診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321																																														
26	1 予算 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>18,179</td> </tr> <tr> <td> 医療収益</td> <td>17,055</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,057</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>474</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	18,179	医療収益	17,055	運営費負担金収益	1,057	その他営業収益	67	営業外収益	136	運営費負担金収益	36	その他営業外収益	100	資本収入	474	長期借入金	92	1 決算 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>19,903</td> </tr> <tr> <td> 医療収益</td> <td>18,646</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,169</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>149</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	19,903	医療収益	18,646	運営費負担金収益	1,169	その他営業収益	88	営業外収益	115	運営費負担金収益	16	その他営業外収益	99	資本収入	527	長期借入金	149	IV		予算を上回る決算であり、評価できる。
区 分	金 額																																																
収入																																																	
営業収益	18,179																																																
医療収益	17,055																																																
運営費負担金収益	1,057																																																
その他営業収益	67																																																
営業外収益	136																																																
運営費負担金収益	36																																																
その他営業外収益	100																																																
資本収入	474																																																
長期借入金	92																																																
区 分	金 額																																																
収入																																																	
営業収益	19,903																																																
医療収益	18,646																																																
運営費負担金収益	1,169																																																
その他営業収益	88																																																
営業外収益	115																																																
運営費負担金収益	16																																																
その他営業外収益	99																																																
資本収入	527																																																
長期借入金	149																																																

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																																				
	<table border="1"> <tr><td>運営費負担金</td><td>367</td></tr> <tr><td>その他資本収入</td><td>15</td></tr> <tr><td>その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>18,789</td></tr> <tr><td colspan="2">支出</td></tr> <tr><td>営業費用</td><td>16,515</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>15,971</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,605</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>4,480</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,818</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>68</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>544</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>364</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>180</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>96</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>1,694</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>1,075</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>560</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>59</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>10</td></tr> <tr><td>計</td><td>18,315</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	運営費負担金	367	その他資本収入	15	その他の収入	0	計	18,789	支出		営業費用	16,515	医業費用	15,971	給与費	8,605	材料費	4,480	経費	2,818	研究研修費	68	一般管理費	544	給与費	364	経費	180	営業外費用	96	資本支出	1,694	建設改良費	1,075	償還金	560	その他資本支出	59	その他の支出	10	計	18,315	<table border="1"> <tr><td>運営費負担金</td><td>365</td></tr> <tr><td>その他資本収入</td><td>13</td></tr> <tr><td>その他の収入</td><td>19</td></tr> <tr><td>計</td><td>20,564</td></tr> <tr><td colspan="2">支出</td></tr> <tr><td>営業費用</td><td>17,070</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>16,563</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,486</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,144</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,874</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>59</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>507</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>354</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>153</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>95</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>1,492</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>877</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>559</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>56</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>19</td></tr> <tr><td>計</td><td>18,676</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	運営費負担金	365	その他資本収入	13	その他の収入	19	計	20,564	支出		営業費用	17,070	医業費用	16,563	給与費	8,486	材料費	5,144	経費	2,874	研究研修費	59	一般管理費	507	給与費	354	経費	153	営業外費用	95	資本支出	1,492	建設改良費	877	償還金	559	その他資本支出	56	その他の支出	19	計	18,676			
運営費負担金	367																																																																																								
その他資本収入	15																																																																																								
その他の収入	0																																																																																								
計	18,789																																																																																								
支出																																																																																									
営業費用	16,515																																																																																								
医業費用	15,971																																																																																								
給与費	8,605																																																																																								
材料費	4,480																																																																																								
経費	2,818																																																																																								
研究研修費	68																																																																																								
一般管理費	544																																																																																								
給与費	364																																																																																								
経費	180																																																																																								
営業外費用	96																																																																																								
資本支出	1,694																																																																																								
建設改良費	1,075																																																																																								
償還金	560																																																																																								
その他資本支出	59																																																																																								
その他の支出	10																																																																																								
計	18,315																																																																																								
運営費負担金	365																																																																																								
その他資本収入	13																																																																																								
その他の収入	19																																																																																								
計	20,564																																																																																								
支出																																																																																									
営業費用	17,070																																																																																								
医業費用	16,563																																																																																								
給与費	8,486																																																																																								
材料費	5,144																																																																																								
経費	2,874																																																																																								
研究研修費	59																																																																																								
一般管理費	507																																																																																								
給与費	354																																																																																								
経費	153																																																																																								
営業外費用	95																																																																																								
資本支出	1,492																																																																																								
建設改良費	877																																																																																								
償還金	559																																																																																								
その他資本支出	56																																																																																								
その他の支出	19																																																																																								
計	18,676																																																																																								
27	<p>3 院内保育施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家庭の両立を支援するため、夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに柔軟に対応できる体制づくりに努める。 ・院内保育施設の充実を図るため、実施設計に基づき建築整備を進め平成31年3月の移転、開設を目指す。 	<p>3 院内保育施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新保育所の建設を進め、予定通りに完成することができた。平成31年3月18日から新保育施設での保育事業を開始した。 ・移転新築にあたっては、施設の定員を45名から60名に増員するとともに、企業主導型保育事業の院内保育施設として、企業主導型保育事業費補助金（整備費及び運営費）の助成申請を行い、助成決定を受けた。 ・夜間保育、休日保育、病児保育について継続して実施した。 <p>【院内保育状況】 単位：人・日（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">入所者数</td> <td>54</td> <td>52</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夜間 保育</td> <td>利用者数</td> <td>87</td> <td>103</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>対応曜</td> <td>木曜日</td> <td>木曜日</td> <td>木曜日</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度		H28	H29	H30	入所者数		54	52	47	夜間 保育	利用者数	87	103	16	対応曜	木曜日	木曜日	木曜日	IV		保育所の移転新築にあたり施設の定員を増員するなど、院内保育所の充実が評価できる。																																																																	
区分\年度		H28	H29	H30																																																																																					
入所者数		54	52	47																																																																																					
夜間 保育	利用者数	87	103	16																																																																																					
	対応曜	木曜日	木曜日	木曜日																																																																																					

項目 No.	H30 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	論 点	検 証 (案)
			日					
		休日保育日数	114	102	110			
		病児保育利用(延 人数)	88	75	104			
29	2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新中央診療棟整備事業の実施設計を着手し、建設に向けての取組を進める。 ・併せて、新中央診療棟整備事業の関連事業である病院入口の市道拡幅整備の用地買収や立体駐車場整備などの取組も進める。 ・電気、ガス、重油等の熱源施設については、現有設備の活用、供給ルート、新中央診療棟における設備設置等、今後の展開を検討して、無駄のない施設整備に留意していく。 ・患者意見箱の施設整備に関する要望や意見については、内容を精査した上で対応していく。 ・情報ネットワーク更新については、保守期限の迫る機器を優先して実施するとともに新中央診療棟整備事業と連携しながら進めていく。 ・医療総合情報システム（電子カルテ）の平成31年5月の更新稼働に向けて、医療情報開発部が中心となり、計画的にシステムの開発を進める。また電子カルテサーバーに接続する情報ネットワーク機器を計画的に整備する。 	2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・整備担当部門と選定した基本設計業務委託業者を中心に院内各部門ワーキンググループを定期的開催し、具体的な検討を重ね、平成30年6月末に基本設計を策定した。引き続き実施設計策定を進めている。 ・立体駐車場整備については、民間資金を活用しBTO方式で整備することとし、15年間の保守管理委託を含めた契約を締結した。 ・医療総合情報システム再整備計画に基づき、既存病棟内LAN工事等のネットワーク機器の更新を行った。 ・医療総合情報システム（電子カルテ）の更新については、令和元(2019)年5月の稼働に向け、部門ヒアリングを基に新システムの仕様確認、運用確定等の作業を進めるとともに、稼働に向けた操作研修や外来全体リハーサル等も計画的に実施した。 	IV		新中央診療棟の整備に向けた準備が着実に遂行できている。			